

日本の伝統的工芸品（山口県）

あか ま すずり

赤間硯

赤間硯の技と知恵

制作を通して硯の世界を一緒に学んでみませんか。

【制作指導・講義／作硯家

ひえだ よういち
日枝陽一】

日時：2023年2月25日(土)-26日(日)

時間：9:30-13:00/14:30-18:00

※同じ内容を4回開催（詳細は裏面参照）

場所：駐健保会館4F小会議室
東京都港区芝3-41-8



<連絡先>

UKETSUGUプロジェクト(柴田)

TEL：090-4806-8766

Mail：shib11mgr@gmail.com

1) 赤間硯とは

赤間硯は、赤褐色の原石「赤間石」を用いて制作された、美しく芸術性の高い硯です。緻密な石質を持ち、繊細な表現に適した発色の良い伸びのある墨液を作ることができます。歴史は古く、鎌倉時代に源頼朝が鶴岡八幡宮（神奈川県鎌倉市）に奉納したという記録があり、幕末には吉田松陰にも愛用されました。また、松陰が愛用した赤間硯は、松陰神社（山口県萩市）の御神体の一つにもなっています。

そのような赤間硯は、山口県の宇部市や下関市周辺で作られており、伝統の技を忠実に受け継いだ職人によって『用』と『美』が高度に融合され、手にする人、使う人を楽しませてくれます。

2) 硯のある生活

現代の日常生活では、ペンやパソコン、スマホなど利便性に優れた筆記具が身近にあふれています。一方、硯が用いられる書道・習字の世界には、日常の喧騒から解放され、心を落ち着かせ、精神的な集中力を高めてくれる魅力があります。書に触れることで、知性や感性を養うこともできます。

ぜひこの機会に、ご自身で制作した愛着ある硯を手にし、生活の中に、心落ち着く豊かな時間を取り入れてみてはいかがでしょうか。

《制作体験/講義について》



No	概要
1	赤間硯について【講義】
2	赤間硯を使ってみよう
3	赤間硯の制作【ワークショップ】 <ul style="list-style-type: none">・作硯家の指導のもと自分だけの硯を制作します。・硯を作りながら、硯についての様々な知識を学ぶことができます。・作硯家への質疑、素朴な質問も随時可能です。
4	質疑・意見交換/アンケート

[時間]：3～3.5時間程度／1回あたり

※右の表からお選びください。

[人数]：最大8名／1回あたり

[費用]：9,000円／1回あたり（完成品の送料は別）

[内容は、何れの回も同じです]

[応募方法]：電話／Mail／Peatix（第1回 <https://akama-suzuri-1.peatix.com>）

※第2～4回は、上記URLの数字がそれぞれ 2、3、4となります。

[支払方法]：現地支払い（現金）／Peatixサイトにて支払い

[備考]：体験いただく工程は、下記の赤枠（仕上げ彫り・砥石磨き、ペーパー磨き、鋒鋳立て）です。

その他の工程は作硯家にて実施し後日参加者へお届けします。

また、鋒鋳立てで使用した泥砥石はお持ち帰りできます。

完成品は、制作者（参加者）のお名前を入れた桐箱にてお渡しします。

本イベントでは、硯の粉や墨で汚れる場合もありますので、エプロンのご持参や汚れても大丈夫な格好にてお願いします。 **この工程の一部を体験**

採石/
選別

形づくり/
じぎり/
縁立て

粗彫り/
仕上げ彫り/

磨き/
鋒鋳立て/
仕上げ

後日お手元
に送付